

学校だより

令和元年10月11日(金)

明るく 元気に 前向きに

第10号

いわき市立藤原小学校 (文責 校長・伊達多津也)

6年生は、東京方面の修学旅行を終えました。5年生は、いわき海浜自然の家での2泊3日宿泊活動を行いました。本校の高学年の児童達は、約束事や時間をきちんと守り、両活動の目標を十分に達成することができました。子ども達の姿が頼もしく見えました。

学校の中は、19日の学習発表会へ向けて着々と準備が進んでいますが、学習に適した時期をむかえていますので、1時間1時間を大切にしながら、教育活動を進めていきます。

継続して 力をつけていきます



現在、2年生以上の学級で「声に出してチャレンジ！」
(ゆのだけ学級は、子ども達の状況により取り組むかどうか判断)を実施しています。

1分間に40問の算数問題を声に出して解いていく方式で行います。多くの時間をかけなくても、何度もチャレンジする中で、数字や公式を見ただけで、解決できる子を育てていくことがねらいです。

低学年では、「 $15 - 8$ 」を「5から8は引けないから、となりから・・・」という意味からではなく、即座に「7」とこたえられることをめざします。

また、かけ算九九では、子ども達が苦手とする、7の段や8の段を意識して問題を配列してあります。

高学年では、公式や単位の換算に加えて、 25×4 や 8×25 、さらに 11×11 や 12×12 という問題を配列しています。

また、中学校への橋渡しを意識して、 2×2 (2乗)、 $2 \times 2 \times 2$ (3乗)なども問題として配置してあります。

「自分で頑張ってみたい人は、家でもやってみるといいですよ。」と伝えていきますので、家に帰って自主的に取り組んでいるお子さんがいれば、その意欲をたくさん認めてほめてください (とても素晴らしいことです)。

※ 1年生は、3学期以降の実施を予定しています。



200超え

⇔ HP 閲覧数

HPの閲覧数が、2万を超えました。これは、保護者の方が学校への関心を寄せてくれている「量」として感じています。毎日のカウント数の増加を追って見てみますと、4月初旬が70~80アクセスで、5月以降は常に100アクセス以上となってきました。6月以降は、平均して170アクセス、そして最近では200アクセスを超える日も見られるようになってきました。

本校の実家庭数が107世帯ですので、「県外にいる祖父母が楽しみにしている」「藤原小の卒業生なので気にかけている」等々の方による広がりを感じています。

【校長のひとりごと】 若い教諭時代の話

「はしを忘れました。」という子ども達のために、本校では職員室に予備のはしを用意してあります。名前を記入してから借りていくのですが、担任時代のことを思い出しました。

子ども達に常々言ってきたことは、「忘れるのは仕方がない。その後、自分でなんとかする。」ということでした。もちろん、はしの忘れ物も多かったですが、担任として子ども達には、この後どうするかを任せてみたのです。「家に帰って持ってくる。」「手で食べる」「鉛筆で食べる」等がアイデアとして出てきました。(家の人に持ってきてもらうが出来なかったのは素晴らしいことでした。) 子ども達と相談して決めたことは、「枝を削ってきて、自分ではしを作る」でした。昭和のにおいがしますが、なかなかのアイデアで、忘れた後ろめたさを通り越して、ワイルドに楽しんでいる子どもの姿がありました。